

外部評価を踏まえた対応方針一覧

事務事業名		安全・安心メール配信システムの整備	介護予防事業 湯っこで生き生き交流事業	地域防犯活動支援事業
担当課名		総務課	高齢介護課	生活環境課
内部評価	事務事業の方向性	有効性を改善して継続	現状のまま継続	現状のまま継続
	方向性の理由	この事業は、携帯電話やパソコンの普及により、災害時等において緊急を要する避難情報、警戒情報、大規模テロ情報などのほか、火災、気象、防犯、ライフライン、イベント、観光、農業等の各種情報を携帯電話等を通じて提供するシステムで5年間（H23.3～H28.2）の債務負担事業としてスタートした。 今後も市民ニーズに対応した各種情報提供を行うとともに、市広報等を活用して「安全・安心メール（駒らん情報めーる）」の登録者の増加を目指す。	介護保険給付費の上昇を抑制する効果が大きいいため今後も継続して実施していきたい。	防犯団体等の活動を継続的に行うことにより、犯罪の未然防止に役立っている。
	今後の具体的な取組方策と狙う効果	平成24年8月で携帯電話大手3社の緊急速報メール(避難情報、警戒情報、大規模テロ情報など)の受信が市においても可能となった。このことから当初の目的である緊急情報の配信については他の手段でも受信可能となり一定の目的が達成されたことから、当面、契約期間満了までは継続するものの、今後の安全・安心メールの登録者数の伸び（平成24年9月末現在、登録件数1,714件）や市民ニーズを総合的に勘案し、費用対効果を判断した上で、更新時の継続の可否を判断する必要がある。	湯っこの事業を開始してから7年目に入り、介護認定者数が計画より少なくなっており、介護予防の効果が大きく表れている。現在週13コースのバス運行をしているが参加率は70%程度となっているので、電話での状況把握や友達からの声かけをするなど参加率の向上を目指す。 また、バスの運行コースに工夫を凝らすなど新たなメニューを考案し、介護予防効果を充実させる。	今後も、街頭啓発、イベント等でのパトロール、防犯行事を実施し、防犯意識の啓発を図る。
外部評価	事務事業の方向性	有効性を改善して継続	有効性、効率性の改善に留意しつつ事業の重点化を図る	有効性を改善して継続
	ご意見及び指摘事項	さらに重点化を図る 2名 ・市民ニーズに応えられるシステム作り、加入促進のPR活動に取り組む。 ・利用者からの意見のチェック、新規利用者の拡大に取り組む。 有効性を改善して継続 2名 ・登録者増加を図る工夫をすることが重要。配信内容状況や利用者の声を丁寧に紹介し、広報、啓発に努める。 ・情報の中身を見直し、利用者を増やすべき。 効率性を改善して継続 1名 ・学校(PTA)へ呼びかけ、子どもの安全を一番に考えてほしい。 休止 2名 ・もう少し考えるべきである。 ・災害時には関心があると思うが、中央情報で見られると思う。よって市として、市民が必要かどうか、どんな情報を得たいか調査をして、事業を行ってはどうか(調査の間、一時休止)。 その他コメント ・事業の外部依頼や民間への移行も検討してほしい。 ・六戸町ではスピーカーで緊急情報をお知らせしている。市も防災無線で呼びかけてはどうか。	さらに重点化を図る 3名 ・軽度認定者率が7.6%から6%へと成果が出ているので、参加者を増やすべきである。 ・参加実人数が段階的に増えるよう配慮し、参加市民を増やす。 ・体操や温泉に入るだけでなく高齢者が外に出るという意味でも大変良い事業と思う。 有効性を改善して継続 2名 ・寿命の短い男性の利用者を増やすように工夫する。関係機関とも連携し、事業の内容を利用者がより満足感を得られるように工夫する。 ・事業への参加者にPRをして、参加者増となった場合、参加者から少しでも負担をしていただいて、希望したら全員が参加出来たらいいと思う。 効率性を改善して継続 1名 ・老人のため考えて行ってほしい。 休止 1名 ・限られた人の参加、予算執行が非効率	有効性を改善して継続 4名 ・ソフト的な改善によって効果を上げるよう努力していただきたい。毎年重点テーマを決めることもよいと思う。 ・防犯協会の存在の理解を深化させるためにも、主体的な事業の発案や実施、組織の活性化を図り、活動の形骸化をさせない工夫や事業が効果的に実施されているのか、成果を示す客観的な指標も必要。 ・地域住民の防犯意識啓発、犯罪企図者の抑止力を高めるための新たな手段の改善も必要。 ・さらに向上をめざして、有効性を考え効率よく実施してほしい。 ・有効性あつての事業でなければならないと思う。しかし、それぞれの事業主体自らの自立できる環境整備を求める。 効率性を改善して継続 1名 ・効率性をよく考えて活動してほしい。
外部評価を踏まえた対応方針		十和田市事務事業外部評価におけるご意見、指摘事項及び「有効性を改善して継続」との提言を踏まえ、以下について取り組んでまいりたい。 1. 市民の生命を守るとともに防災及び減災対策を強化するため、国等からの緊急・防災情報等を安全・安心メールを通じて迅速・確実に伝達するシステムを構築する。 2. 安全・安心メール配信システム運営委員会等を開催し、生活情報カテゴリーに関してのシステム等を見直し、利用者の利便性と登録拡大を図る。 ①登録方法(手順等)の見直しによるわずらわしさの解消(カテゴリー毎の登録方法の簡素化) ②登録者数の増加を目指しカテゴリー毎にターゲットを絞った加入案内 ③利用者の声を反映させる取り組み ④新規利用者の拡大(市内小中学校・PTA及び北里大学生等) ⑤利用者の経費軽減のための配信内容(情報量)の軽量化と見やすさの検討	十和田市事務事業外部評価におけるご意見、ご指摘及び「有効性、効率性の改善に留意しつつ事業の重点化を図る」との提言を踏まえ、以下について取り組んでまいりたい。 1. 介護予防事業のさらなる充実を図ること、また男性参加者を増やすことを目的として、市の広報紙等で「湯っこ事業」をPRし高齢者の参加者を増やしていく。 また、老人クラブ連合会や町内会連合会等の広報紙等へ「湯っこ事業」を掲載依頼し、会員への参加を働きかけて行く。 2. 自分で会場へ行ける方には曜日を決めずに、いつでも介護予防体操に参加できるよう、気軽に参加できる仕組みを作っていく。 3. 事業の充実については、参加者からのアンケートを踏まえ、十和田湖地区には春、秋の2回、訪れるようにすることや、新しいメニューも取り入れるなど創意工夫を図ってまいりたい。	十和田市事務事業外部評価におけるご意見、ご指摘事項及び「有効性を改善して継続」との提言を踏まえ、以下について取り組んでまいりたい。 1. 祭りや街頭啓発で十分な効果を発揮できるよう、対象となる行事等の選択を検討するとともに、地域で防犯活動を行っている団体への支援や、町内会での防犯意識啓発のための、研修会等の開催について、検討していく。 2. 防犯協会の組織内研修や、一般市民に対する研修等の企画運営が、円滑に実施出来るようにするため、どのような支援方法があるのか検討していく。 3. 警察が収集している犯罪の件数や傾向など様々な情報を入手し、その原因や対策など、どういった活動が効果的なのか警察との連携を深め、防犯協会や地域防犯団体の活動につなげるよう検討していく。